令和３年度　活動報告レポート「スタートアップ部門」

団体名　池上台ハウス管理運営委員会

団体概要　緑区池上台において、安心して暮らせる地域づくりのためにお互い様の助け合いの気持ちを形にしていく拠点として、個人住宅を開放しｺﾐｭﾆﾃｨｰﾊｳｽ（池上台ハウス）として活用しているものです。

活動名：まちの縁側づくり

1 令和3年度の活動目的・目標

目的：だれでもが気軽に利用できる縁側のような緩やかなたまり場を作る。
また池上台ハウス３周年を迎え見えてきた課題へ対応する。

目標：1.協働で進めるまちづくり活動の意義を認識する。
2.子どもの参画により多世代のつながりを強化する。
3.地域にあった安心安全まちづくりとして自主防災活動、交通対策のあり方を探る。

2 活動の内容

①交通量調査　7回　令和3年7月～令和4年2月
②「これからのまちの縁側」をテーマとした講演会　7月29日
講師：名畑恵氏　参加者23名
③親子防災勉強会　1回目：8月24日、2回目：9月23日
「おうちでひなん」勉強会　講師：大汐一行氏、岡田衣津子氏
まち探検、防災ｸﾞｯｽﾞ見学他 講師：岡田衣津子氏、緑消防署職員
参加者1回目30名、2回目30名
④ＳＤＧＳ勉強会　1回目：10月14日、2回目：11月18日
電磁波による健康障害 大久保貞利氏DVD視聴　参加者1回目8名
なんでも医療相談会　講師：富田崇由氏　参加者2回目15名
⑤プチバザー、フードドライブ　10月24日　参加者56名
⑥シニアと子どものための映画会　11月13日　参加者7名
⑦子ども食堂試行、ベジチェック　11月28日　参加者18名
⑧クリスマスファミリーコンサート　12月04日　参加者13名
⑨いつも防災安心ノート作成 4回 10月14日～2月10日 参加者各8名

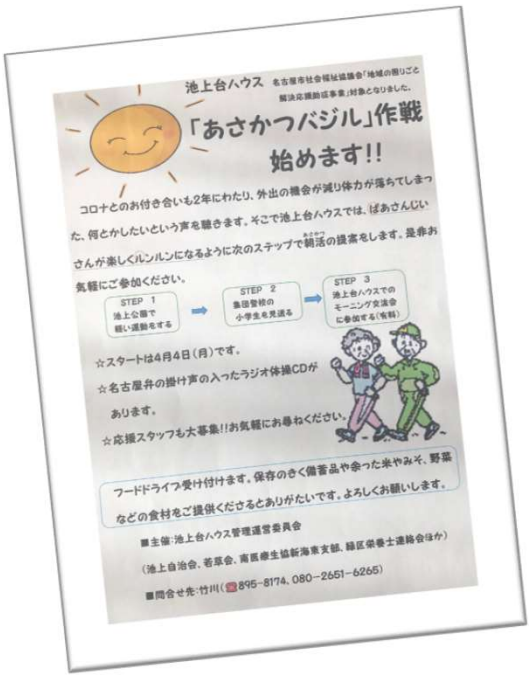
3 活動の振り返り（達成度および工夫点）

達成度合いについて

①予定した行事はすべて開催することができた。
②交通量調査については緑警察、土木事務所などと協議し要望を伝えた。結果について自治会定例会等で報告。
③若い世代の応援や関係機関の協力をいただき、事前ニーズ調査、企画会議等を重ね楽しい実践につながった。
④子ども食堂試行により新たなニーズが明確になった。

活動の工夫点

特にコロナ感染対策上の必要から以下の３点に注意した。
㋐行事を分散し、少人数、短時間の開催とした。
⇒高齢スタッフにとっては負担軽減となった。
⇒それぞれのプロセスを丁寧に取り組み共有できた。
㋑リモート会議システムで講師とハウス、ハウスと家庭をつないだ。
㋒まち探検の活動プログラムを取り入れた。
⇒新しい活動が実践できわくわくする楽しい活動体験となり効果的だった。

4 今後の活動計画

①いつも防災安心ノートの活用⇒ＨＰへの掲載検討、ノートの使い方や更新のための勉強会開催。
②朝活バジル、ほのぼの食事交流会の具体化
③お月見どろぼうの試行
④縁側づくり勉強会やファミリーコンサートなど世代間交流の積み上げ